

履 歴 書				
フリガナ 氏 名	佐藤 知一	男・女	生年月日 (年齢)	昭和45年 1月 12日生 (満38才)
本籍地又は国籍	日 本	現 住 所	神奈川県 厚木市寿町 1丁目 2-3	
学 歴				
年 月	事 項			
2000年4月	慶應義塾大学 総合政策学部 総合政策学科 入学			
2004年3月	慶應義塾大学 総合政策学部 総合政策学科 卒業 (総合政策学学士)			
2004年4月	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 国際関係学専攻 入学			
2006年3月	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 国際関係学専攻 卒業 (国際関係学修士)			
職 歴				
年 月	事 項			
1988年3月	1990年7月まで	ニュージーランドへ渡航し、少林寺拳法指導員		
1990年7月	1993年4月まで	NZより帰国。旅館月ヶ瀬 (静岡県伊豆市) 勤務		
1993年4月	2003年7月まで	和風料理おかめ (神奈川県厚木市) 勤務		
2003年7月	現在に至る	厚木市議会議員		
2004年7月	2005年7月まで	厚木市議会 都市経済常任委員会 (副委員長)		
2006年7月	2007年7月まで	厚木市議会 市民福祉常任委員会 (副委員長)		
2006年8月	2007年8月まで	厚木愛甲環境施設組合議会 議員 (議会運営委員会委員)		
2007年7月	現在に至る	厚木市議会議員 (2期目)		
2007年7月	現在に至る	会派 民主党 代表		
2007年8月	2008年7月まで	厚木市議会 都市経済常任委員会 (委員長)		
2007年8月	現在に至る	厚木市立病院の整備運営に関わる調査特別委員会 委員		
2007年9月	2008年10月まで	厚木市議会 決算特別委員会 委員		
2008年4月	現在に至る	民主党神奈川県総支部連合会 組織県民運動委員会 (委員長)		
2008年4月	現在に至る	民主党神奈川県総支部連合会 執行部役員		
2008年7月	現在に至る	民主党神奈川県総支部連合会 青年局 (局長)		
2008年8月	現在に至る	厚木市議会 総務企画常任委員会		
2008年8月	現在に至る	厚木市議会 議会運営委員会 (委員長)		
2008年8月	現在に至る	厚木愛甲環境施設組合議会 議員 (議会運営委員会委員)		
学会及び社会における活動等				
年 月	事 項			

厚木愛甲環境施設組合議会	厚木愛甲環境施設組合議会 議員 (議会運営委員)							非常勤
厚木市消防団 第一分団第三部	消防団員 (公務員 非常勤特別職)							非常勤
平成 20 年 月 日								上記のとおり相違ありません。
氏 名								印

教 育 研 究 業 績 書		
平成 20 年 月 日		
氏 名		
印		
教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 当該教員の教育上の能力に関する 大学の評価		
4 実務家教員についての特記事項 [講演実績] 相模女子大学 翠葉会	1995年10月19日	相模女子大学OG会「翠葉会」にて、講演。会場は厚木ハピネスビル。
[講演実績] 国際ソロプチミスト日本財団 厚木 支部 講演会	1998年11月	財団法人ソロプチミスト日本財団「社会ボランティア賞」(全国表彰)受賞にかかわる講演会。会場は、ロイヤルパークホテル。
[講演実績] 慶應義塾大学「SFCアワード」受賞 に関わる講演	2001年3月	会場は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
[講演実績] 慶應義塾大学「慶應義塾 塾長賞 (奨 励賞)」受賞にかかわる講演	2002年3月	会場は、慶應義塾大学日吉キャンパス
[講演実績] 玉川大学 曾野洋研究会 ゲストスピーカーとして講演	2003年1月8日	講演テーマは「地方自治体の教育政策について」。
[講演実績] 東京FM に出演。	2003年6月	ラジオ(東京FM)にて活動が、特集として取り上げられる。 「ぴかぴかキャンパス」ユア・ロールモデル。時間は1時間半。 パーソナリティーは、斉藤美絵。
[講演実績] 文化学院高等部(東京)にて講演	2004年5月17日	文化学院高等部(東京)にて講演を行う。 正式な授業の一環で、講演時間は1時間半。対象は、高等部の全生徒。

<p>〔講演実績〕 東京農業大学にて行われる「世界学生フォーラム2004」にエントリーする為の学内予選の講評者を務める。</p>	<p>2004年9月24日</p>	<p>第4回世界学生サミットに協力。テーマは「農業システムの理解深化による地球的持続性の推進」 世界学生フォーラム2004 出場にあたっての予選講評者、ならびにアドバイザーを引き受ける。</p>
<p>〔講演実績〕 「慶應義塾エルゴール会」主催の講演会にて講演。</p>	<p>2008年3月15日</p>	<p>「地方分権一括法施行後の自治体」と題した講演を行う。質疑応答を入れた講演時間は1時間半。会場は、東京・有楽町。聴衆は、およそ70人。 ※ 講義の内容（講義録）は、雑誌ERGO（12月発行）に全文掲載予定。</p>
<p>〔講演実績〕 「早慶新人弁論大会」審査委員を引き受けたことにかかわる講演</p>	<p>2008年6月14日</p>	<p>会場は、慶應義塾大学。「早慶新人弁論大会」は、毎年、早稲田大学雄弁会と慶應義塾弁論部の新人を対象に行われるものである。 原則として会場は、早稲田大学大隈講堂、慶應義塾三田演説館（ともに国・重要文化財）。</p>
<p>〔請願紹介議員としての実績〕 平成16年6月定例会</p>	<p>2004年6月</p>	<p>平成16年 環境教育常任委員会（平成16年6月定例会） 請願第1号 容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書を国に提出を求める請願</p>
<p>〔請願紹介議員としての実績〕 平成20年2月定例会</p>	<p>2008年3月</p>	<p>平成20年 総務企画常任委員会（平成20年2月定例会） 請願第1号 厚木市にコミュニティバスの導入をお願いする請願</p>
<p>〔議会登壇実績〕 議会一般質問登壇 ：平成15年9月定例会（第2日）</p>	<p>2003年9月5日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」 (1) 行政評価システムの導入について ア 「業務棚卸し」方式について （ア）業務棚卸し方式導入の目的と進捗状況はどうか。 （イ）業務棚卸し方式の行政評価導入のデメリットとは何か。 イ アウトカム思考について （ア）アウトカム思考育成の施策の考えはあるか。 （イ）アウトカムと作戦の矛盾に当たっての対応をどのように考えているのか。 ウ 行政評価について （ア）行政評価システムとあつぎハートプランとの整合性はどうか。 （イ）どのように、どこから行政評価に着手するのか。</p>
<p>〔主な議会登壇〕 議会一般質問登壇 ：平成15年12月定例会（第2日）</p>	<p>2003年12月5日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」 (1) 市政一般について ア 性同一性障害について （ア）公文書、申請書、投票所入場券等の性別記入欄を削除することはできないか。 （イ）相談体制と市民への広報活動、学習機会の提供を考えているか。 イ 知的障害者のヘルパー資格取得について （ア）資格取得講座開設とその後の就労相談体制をとる考えはあるか。 ウ あつぎらしさの広報活動について （ア）市内大学でのあつぎらしさを伝える寄附講座を開設する考えはあるか。 エ 厚木市職員の自己啓発について （ア）青年海外協力隊、ボランティア活動等に参加するための長期自己啓発休暇制度を創設する考えはあるか。 オ 行政評価システムについて （ア）現在までの行政評価システムの進捗状況は、</p>

<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成16年2月定例会（第3日）</p>	<p>2004年3月1日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 子どもを健やかに育む環境の提供について</p> <p>（ア）複雑化する家庭内虐待、DVなどへ対応する体制は十分に整っているか。</p> <p>（イ）未成年者に蔓延するドラッグに対しての市としての見解と対策はどのようなものか。</p> <p>（ウ）ファミリーサポートセンターの活動の中で、改善した点といまだ残る問題点などはあるか。</p> <p>（エ）市内保育園間の転入、転出は可能とすることはできないか。</p> <p>イ 電子入札制度導入について</p> <p>（ア）電子入札化と並行した一般競争入札の原則化はどうか。</p> <p>ウ クライシス・マネジメントについて</p> <p>（ア）BSE、鳥インフルエンザなどに起因する問題が市内で起きた場合の体制は十分に整っているか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成16年6月定例会（第2日）</p>	<p>2004年6月3日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 子どもを健やかに育む環境の提供について</p> <p>（ア）絶対評価導入による市内中学校の評定格差及び評価規準のばらつきに問題はないか。</p> <p>（イ）HPV（ヒトパピローマウイルス）蔓延に対する性教育を含む対策は。</p> <p>（ウ）市内保育園の休日受け入れを考えているか。また、その課題は何か。</p> <p>イ ビオトープについて</p> <p>（ア）自然生態系（オオタカの保護など）に対する政策的アプローチは十分か。</p> <p>（イ）市内小・中学校へのビオトープの導入を考えているか。</p> <p>ウ 循環型バスの導入について</p> <p>（ア）乗り合い型タクシー導入を含む公共交通空白地域対策は。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成16年9月定例会（第2日）</p>	<p>2004年9月7日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 中学校選択制導入について</p> <p>（ア）中学校選択制導入のメリットは何か。また、デメリットがあるとすれば何か。</p> <p>（イ）手段と目的は合致しているか。また、施策について整合性がとれているか。</p> <p>（ウ）絶対評価導入による市内中学校の評定格差及び評価規準のばらつきに問題はないか。</p> <p>イ 厚木市立病院のインフラについて</p> <p>（ア）電子カルテの導入及び運用システム全体のリフォームは考えているか。</p> <p>ウ 市内における豪雨による水害・土石流対策について</p> <p>（ア）市内における豪雨などによる水害、土石流に対する備えは十分か。</p> <p>エ パブリックコメント制度対象案件の拡充について</p> <p>（ア）パブリックコメント制度の対象案件の拡充及び例外なき導入について考えているか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成16年12月定例会（第3日）</p>	<p>2004年12月8日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 七沢地区シャトルバスとロープウェイ計画について</p> <p>（ア）地域再生計画にあるシャトルバスとロープウェイ計画は、どうなっているか。</p> <p>イ 地域再生計画について</p> <p>（ア）手段と目的は合致しているか。また、施策について整合性がとれているか。</p> <p>ウ 西山尾根道市道のつけかえと景観について</p> <p>（ア）市道のつけかえは、等価であったか。</p> <p>（イ）集落地から望む西山の景観について、どう考えるか。</p> <p>エ 高齢者の住環境について</p> <p>（ア）市内居住高齢者の住環境について市の考える課題は何か。</p> <p>（イ）市として安心ハウス構想導入について考えているか。</p>

<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成17年2月定例会（第4日）</p>	<p>2005年3月1日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア ごみ処理について</p> <p>（ア）市内にある郵便局、合同庁舎などのごみ処理費用は、だれが負担しているのか。</p> <p>（イ）小田急線全駅のごみ箱撤去によるごみ処理負担増加についてどのように考えるのか。</p> <p>（ウ）ごみ、リサイクルの運用状況及びコンポスターなどの利用状況についての詳細は。</p> <p>イ 手数料及び使用料について</p> <p>（ア）戸籍謄本、印鑑証明、住民票などの発行手数料及び施設利用料金は適正か。また、その根拠は。</p> <p>ウ 学校及び地域での安心安全について</p> <p>（ア）学校及び地域での安心安全について市の考える課題は何か。</p> <p>エ 少子化対策について</p> <p>（ア）少子化対策について市の考える課題は何か。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成17年6月定例会（第3日）</p>	<p>2005年6月10日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 市のアカウントビリティ（説明責任）について</p> <p>（ア）まちづくり政策フォーラムの成果と課題は何か。</p> <p>イ 行政評価の進捗状況について</p> <p>（ア）事業仕分けを行い事務事業のスリム化につなげてはどうか。</p> <p>ウ 個人情報保護について</p> <p>（ア）取り組みと、庁内LANなどへの情報セキュリティの現状は十分か。</p> <p>（イ）踏み台を目的とした不正アクセスやウイルス、ワーム対策はどうか。</p> <p>エ 持続可能な発展と環境型社会の構築について</p> <p>（ア）厚木市環境基本計画の進捗状況は。</p> <p>（イ）構成団体としての新アジェンダ 21 かながわに対する本市の取り組み状況は。</p> <p>（ウ）環境の視点から見た農業政策への取り組みはどのようなものか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成17年9月定例会（第3日）</p>	<p>2005年9月8日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 防災対策について</p> <p>ア 厚木市地域防災計画に基づく平成17年度防災総合訓練について</p> <p>（ア）関係協力団体との協力体制は万全か。</p> <p>（イ）市の考える今後の課題は何か。また、客観的な分析と評価はどうか。</p> <p>イ 災害時の情報伝達手法について</p> <p>（ア）災害用伝言ダイヤル171番及び災害用掲示板などの活用は考えているか。</p> <p>ウ 公共施設内の防災対策について</p> <p>（ア）通常業務として地震対策への認識は職員に徹底しているか。</p> <p>（イ）公民館や自治会館などの防災資機材の配備状況は適切か。</p> <p>エ 災害時における帰宅困難者に対する対応について</p> <p>（ア）対応は十分か。また、公民館・学校など市施設の開放は考えているか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成17年12月定例会（第3日）</p>	<p>2005年12月8日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア アスベスト（石綿）処理について</p> <p>（ア）アスベスト（石綿）を含む家庭用品のごみ処理方法は適切か。</p> <p>（イ）市内施設に使用されている石綿スレート等への対策及び処理方法は十分か。</p> <p>イ 公共サービス効率化（市場化テスト）について</p> <p>（ア）戸籍の附票の写しや印鑑証明書などの窓口業務の民間開放について考えているか。</p> <p>ウ 耐震強度偽装問題について</p> <p>（ア）現状の把握とその後の対応はどうか。</p> <p>（イ）市民からの問い合わせはあるか。</p> <p>エ 自治体C Iについて</p> <p>（ア）行政デザイン戦略の1つとして、新たに市の花、市の鳥、市の魚を制定したらどうか。</p>

<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成18年2月定例会（第5日）</p>	<p>2006年3月3日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 行政評価について （ア）経営的視点による事業分析や行政評価などの進捗状況はどうか。 （イ）市職員に対する評価は適正か。</p> <p>イ AEDなどを用いた救命率の向上について （ア）職員に対して救命講習を実施しているか。 （イ）事業所管理責任者や市民に対して講習を行うことはどうか。</p> <p>ウ 老老介護について （ア）厚木市の現状と対策は。</p> <p>エ 2007年問題について （ア）団塊世代の大量退職に対する認識と対策は。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成18年6月定例会（第2日）</p>	<p>2006年6月9日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 子どもを健やかにはぐくむ環境の提供について （ア）複雑化する家庭内虐待・DV・蔓延する禁止薬物などへ対応する体制は十分に整っているか。 （イ）学校及び地域での安心安全について市の考える課題は何か。 （ウ）ファミリーサポートセンターの活動の中で改善した点といまだ残る問題点はあるか。</p> <p>イ 豪雨などによる水害・土石流対策について （ア）市内における水害・土石流に対する備えは十分か。</p> <p>ウ 持続可能な発展と環境循環型社会の構築について （ア）環境の視点から見た農業政策、環境整備への取り組みはどのようなものか。</p> <p>(2) 教育行政について</p> <p>ア 市内中学校の評定格差及び評価規準について （ア）評定格差及び評価規準のばらつきによる問題や課題はあるか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成18年9月定例会（第3日）</p>	<p>2006年9月8日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 市所有の各媒体に対するの広告掲載事業について （ア）目的と厚木市の基本となる考えは。 （イ）本厚木駅前大型ビジョン広告放映枠販売と紙資源物回収袋への広告掲載の進捗状況は。 （ウ）市ホームページバナー広告掲載は、ホームページ閲覧の際に支障とならないか。また、その応募状況は。</p> <p>イ 身体・知的・精神障害者の小規模通所授産施設などについて （ア）施設などへの支援状況は。</p> <p>ウ まちづくりにおける地域格差について （ア）市内の地域格差について市の見解は。</p> <p>(2) 教育行政について</p> <p>ア 学校給食について （ア）中学校給食導入による問題や課題はあるか。また、小学校についてはどうか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成18年12月定例会（第3日）</p>	<p>2006年12月6日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) まちづくりについて</p> <p>ア 持続可能な発展と再開発事業について （ア）中心市街地において、市の考える課題は何か。また、その解決策は。 （イ）厚木パルコ撤退における市の考えは。 （ウ）本厚木駅南口地区市街地再開発事業の進捗状況は。</p> <p>イ 地域再生計画について （ア）事業の進捗状況は。</p> <p>(2) 行政改革について</p> <p>ア 行政評価の結果の活用について （ア）予算編成や事業の点検等に活用され、行政の透明性の向上と市民協働のまちづくりの推進に活かされているか。 イ 行政評価システムについて （ア）課題は何か。</p> <p>(3) 教育行政について</p> <p>ア 学校給食について （ア）「食育の視点」から見た給食のあり方について、課題はあるか。</p>

<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成19年2月定例会（第2日）</p>	<p>2007年3月8日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 子育てを応援する施策について （ア）エンゼルサポート事業に課題があるとすれば何か。</p> <p>イ 安心安全な街づくりと交通渋滞緩和策について （ア）交差点改良に伴う信号機及び横断歩道等の移設に課題はあるか。 （イ）交通渋滞の緩和策の現状はどうか。また、対策についての考えはあるか。</p> <p>ウ 透明性を高めるための公会計改革について （ア）公会計改革についての考えはあるか。</p> <p>エ 選挙における投票率の改善について （ア）市は投票しやすい環境づくりに最大限の努力をしているか。</p> <p>(2) 教育行政について</p> <p>ア 小・中学校登下校時の安全確保について （ア）児童・生徒の安全を確保するために新たにスクールゾーン設置の考えはあるか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成19年6月定例会（第2日）</p>	<p>2007年5月30日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 行政対象暴力対策について （ア）組織を横断した情報の共有と問題発生時の体制は、十分に整っているか。</p> <p>イ 地産地消と農業政策について （ア）七沢地区のふるさと食文化村構想など、特色ある厚木の農業を充実させる施策の成果は何か。</p> <p>ウ 公共施設の管理について （ア）計画的な管理は行われているか。また、プロパティマネジメント（PM）の概念から維持管理する専門家（プロパティマネジャー）を導入したらどうか。</p> <p>エ 商店会の空き店舗対策について （ア）小規模多機能型居宅介護事業を空き店舗対策に活用したらどうか。</p> <p>オ 市立病院の産婦人科医師の撤退について （ア）市内において分娩の受け入れ体制の確保は十分か。</p> <p>カ 防災活動と消防団について （ア）災害発生時における役割分担は明確にできているのか。また、防災体制の整備は充実しているか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成19年9月定例会（第3日）</p>	<p>2007年9月10日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行について （ア）市立病院整備など検討されている大型公共事業は、実質公債費比率等の新たな指標に対して、どの程度の影響を与えていると考えているか。</p> <p>イ 「事業の仕分け」の実施について （ア）成果はどうか。また、今後の予定はどうか。 （イ）厚木市新総合計画市民・職員協働検討会との関係性の有無は。</p> <p>ウ 成人式「はたちのつどい」について （ア）昨年度の評価は。また、今年度の実施に際して、改善すべき点などはあるか。</p> <p>エ あつぎ鮎まつり大花火大会について （ア）今年度の評価は。また、来年度の実施に際して、改善すべき点などはあるか。</p> <p>オ 厚木愛甲ごみの中間処理施設の候補地選定について （ア）進捗状況はどうか。また、市としての考えを示されたい。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成19年12月定例会（第3日）</p>	<p>2007年12月6日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 持続可能な発展と再開発事業について （ア）中心市街地において、市の考える課題は何か。また、その解決策は。 （イ）厚木パルコ撤退における、市の考えは。 （ウ）本厚木駅南口地区市街地再開発事業の進捗状況は。</p> <p>イ 地域再生計画について （ア）事業の進捗状況と今後の課題は何か。</p> <p>ウ ごみ中間処理施設の整備と運営について （ア）進捗状況はどうか。また、市としての考えを示されたい。</p> <p>エ 厚木市立病院の整備と運営について （ア）市としての考えを示されたい。</p>

<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成20年2月定例会（第3日）</p>	<p>2008年2月29日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 平成20年度予算について （ア）予算編成方針の基本的な考えと歳入面及び歳出面で考慮している点は何か。また、税金の見込みは。</p> <p>イ 徹底した情報公開の実施について （ア）昨年の施政方針に示された「徹底した情報公開」と「市政の透明化」の進捗状況は。</p> <p>ウ コミュニティバスについて （ア）導入について、市としての考えは。</p> <p>エ WHOセーフコミュニティ認証の取得について （ア）市としての考えは。</p> <p>オ 再生紙の古紙配合率をめぐる偽装問題について （ア）グリーン購入法に基づいた物品の購入に影響はないか。</p> <p>(2) 教育行政について</p> <p>ア 学校給食におけるレトルト食品の使用状況について （ア）中国製ギョーザ中毒事件にかかわる回収対象食品の使用による健康被害の調査は十分に行われたか。</p> <p>イ 学校給食センター運営委員会について （ア）運営のあり方について、課題はあるか。また、委員会は十分に機能をしているか。</p>
<p>[主な議会登壇]</p> <p>議会一般質問登壇 ：平成20年6月定例会（第3日）</p>	<p>2008年6月10日</p>	<p>「議会登壇通告（質問にて取り上げた内容）」</p> <p>(1) 市政一般について</p> <p>ア 都市緑化推進についての考え方と実際の運用について （ア）愛甲石田駅前の歩道橋延伸事業に当たって、街路樹並木の伐採が行われたが、その経緯は。 （イ）その他、地域における現状に課題はあるか。</p> <p>イ まちづくり交付金を利用した都市整備事業について （ア）地域主導の個性あふれるまちづくりの推進を目的とした都市再生特別措置法に基づく交付金の利用についての考えはあるか。</p> <p>ウ 民間による再開発事業について （ア）市としての考え方と現在抱える問題は何か。</p> <p>エ あつぎ鮎まつり大花火大会について （ア）昨年度の評価は。また、今年度の実施に際して、改善すべき点などはあるか。</p> <p>(2) 教育行政について</p> <p>ア 南毛利小学校などの過密化について （ア）マンション等による無秩序な開発が原因で起こり得る教育環境への影響は何か。</p>

<p>[取材実績]</p> <p><海外></p> <p>1998年3月22日 THE ISLAND (スリランカ全国紙)</p> <p><国内></p> <p>1992年9月10日 神奈川新聞</p> <p>1992年12月10日 東京新聞ショッパー厚木版</p> <p>1993年8月6日 タウンニュース厚木版</p> <p>1993年6月3日 東京新聞ショッパー厚木版</p> <p>1993年2月3日 産経新聞</p> <p>1993年12月20日 毎日新聞18面</p> <p>1993年12月30日 読売新聞</p> <p>1993年5月1日 神奈川新聞</p> <p>1993年5月14日 タウンニュース厚木版</p> <p>1993年6月2日 読売新聞</p> <p>1993年8月20日 読売新聞</p> <p>1994年1月3日 神奈川新聞</p> <p>1994年2月7日 読売新聞</p> <p>1994年3月19日 毎日新聞</p> <p>1995年5月1日 厚木市民かわら版</p> <p>1995年5月2日 産経新聞</p> <p>1995年10月27日 タウンニュース厚木版</p> <p>1995年12月15日 厚木市民かわら版</p> <p>1996年12月13日 毎日新聞</p> <p>1996年12月18日 産経新聞</p> <p>1996年12月23日 東京新聞</p> <p>1997年10月15日 厚木市民かわら版</p> <p>1998年11月20日 県央ホームジャーナル</p> <p>1998年6月12日 県央ホームジャーナル</p> <p>2000年5月23日 タウンニュース厚木版</p> <p>2002年4月10日 慶應キャンパス新聞</p> <p>2002年5月9日 SFC-CLIP (慶應義塾大学 SFC)</p> <p>2003年1月10日 慶應キャンパス新聞</p> <p>2003年4月18日 SFC-CLIP (慶應義塾大学 SFC)</p> <p>2007年4月6日 読売新聞</p> <p>2007年4月6日 神奈川新聞</p> <p>2008年9月9日 読売新聞</p> <p>2008年9月9日 神奈川新聞</p> <p>2008年9月9日 東京新聞</p>	<p><雑誌・広報></p> <p>1994年10月号 月刊かながわ</p> <p>1995年12月1日 広報あつぎ ATSUGI PUBLIC INFORMATION (第一面)</p> <p>2003年1月15日 「塾」第40巻第四号(通巻237号)発行:慶應義塾</p> <p>2003年4月 「YOU」発行:慶應義塾生活協同組合</p> <p>2003年9月1日 厚木市議会だより 第168号</p> <p>2003年11月15日 厚木市議会だより 第169号</p> <p>2004年2月1日 厚木市議会だより 第170号</p> <p>2004年5月1日 厚木市議会だより 第171号</p> <p>2004年8月1日 厚木市議会だより 第172号</p> <p>2004年9月1日 厚木市議会だより 第173号</p> <p>2004年11月15日 厚木市議会だより 第174号</p> <p>2005年2月1日 厚木市議会だより 第175号</p> <p>2005年5月1日 厚木市議会だより 第176号</p> <p>2005年8月1日 厚木市議会だより 第177号</p> <p>2005年9月1日 厚木市議会だより 第178号</p> <p>2005年11月15日 厚木市議会だより 第179号</p> <p>2006年2月1日 厚木市議会だより 第180号</p> <p>2006年5月1日 厚木市議会だより 第181号</p> <p>2006年8月1日 厚木市議会だより 第182号</p> <p>2006年9月1日 厚木市議会だより 第183号</p> <p>2006年11月15日 厚木市議会だより 第184号</p> <p>2007年2月1日 厚木市議会だより 第185号</p> <p>2007年5月1日 厚木市議会だより 第186号</p> <p>2007年8月1日 厚木市議会だより 第187号</p> <p>2007年9月1日 厚木市議会だより 第188号</p> <p>2007年11月15日 厚木市議会だより 第189号</p> <p>2008年2月1日 厚木市議会だより 第190号</p> <p>2008年5月1日 厚木市議会だより 第191号</p> <p>2008年8月1日 厚木市議会だより 第192号</p> <p>2008年9月1日 厚木市議会だより 第193号</p>
--	---

<p>5 その他</p> <p>慶應義塾大学「慶應義塾 塾長賞 (奨励賞)」受賞</p> <p>慶應義塾大学「SFCアワード」受賞</p> <p>財団法人ソロプチミスト日本財団「社会ボランティア賞」(全国表彰) 受賞</p> <p>日本赤十字社「功労賞」受賞</p> <p>日本赤十字社「金色有功賞」受賞</p> <p>日本赤十字社「銀色有功賞」受賞</p>	<p>2002年3月</p> <p>2001年3月</p> <p>1998年11月</p> <p>1994年5月</p> <p>1990年4月</p> <p>1987年</p>	<p>これまでに受けた主な受賞歴は以下の通り。いずれも学術研究に対しての大きな成果を上げたことに対してのものである。</p> <p>「平成13年度・慶應義塾 塾長賞 (奨励賞) 受賞」(慶應義塾大学,2001) 慶應義塾大学の全学部・全研究科に在籍する学生・院生を対象に表彰する制度。学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野においての功績を表彰するもので、私が受賞した平成13年度は、塾長賞2名・塾長賞(奨励賞)4名の計6名が受賞した。大学2年次の塾長賞(奨励賞)受賞は、最年少学年での受賞である。この賞は、「『当人の荣誉であるばかりでなく、慶應義塾の存在自体の光輝となる』塾生を表彰する」もので、小泉体育賞・小泉体育奨励賞と並び、慶應義塾でもっとも高い権威と実績を有する賞の一つである。</p> <p>「平成12年度・慶應義塾SFCアワード 受賞」(慶應義塾大学,2000) 慶應義塾大学・湘南藤沢キャンパス(SFC)にある3学部(総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部)(当時は2学部のみ)および、大学院1研究科(政策メディア研究科)に在籍する学生・大学院生の中から、もっとも評価される研究業績を挙げたものに与えられる賞。当時の受賞者数は、若干名。慶應義塾大学・湘南藤沢キャンパス(SFC)で、もっとも高い権威を有する賞である。 ※現在の慶應義塾SFCアワードは、「優秀な卒業論文・修士論文・博士論文に与えられる賞」となっている。</p> <p>「平成10年度・財団法人ソロプチミスト日本財団 社会ボランティア賞 受賞」(1998,11) ソロプチミスト日本財団は、実業界や専門分野で活躍する女性によって組織された世界最大の奉仕団体である。国連のNGOとして正式に承認され諮問機関としての権限を与えられている。国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョンより、推薦を頂き、受賞。 スリランカへの支援調査活動は、国などの助成金(郵便貯金ボランティア助成金)を受けながら10年にわたり行ってきた活動である。現地責任者へ活動を譲り渡して以降も定期的に現地へ渡り、調査研究を続けている。大規模津波により、スリランカの生活インフラに甚大な被害を受けた際にも積極的な協力を行った。また、研究者(大学院修士)として現地へ訪れた際には、ワジラ・アベイワルダナ国会議員(前国務大臣)、および、現地警察の同行協力(先導及び警護)を頂戴した。また、現地での活動においては、キツリ・レネガイ・ペーラーデニア大学教授(Kithsiri Liyanage 東京大学電気工学博士)の長年にわたる協力を得ている。</p>
<p>職務上の実績に関する事項</p>	<p>年 月 日</p>	<p>概 要</p>
<p>1 資格、免許</p>		
<p>2 特許等</p>		
<p>3 実務家教員についての特記事項</p>		
<p>4 その他</p>		

--	--	--

著書・学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所・発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 「個性ある地域づくりを目指して—まちづくり条例の立案の研究」	共著 (担当した執筆部分については単著)	2002年2月28日	発行：慶應義塾大学 湘南藤沢学会 監修：八木欣之介	第6章 『厚木市緑化推進条例』立案研究についての一考察』の部分を担当執筆。(33頁から44頁)
2 「行政改革の新しい手法」	共著 (担当した執筆部分については単著)	2004年3月10日	発行：慶應義塾大学 湘南藤沢学会 監修：八木欣之介	第2章 「地方への権限及び財源移譲を行うための構造改革と現状の困難さ—行政評価システムと行政構造改革について—」の部分を担当執筆。(16頁から22頁)
(学術論文) 1 「都市農地における多面的機能の研究 —地域農業政策と持続可能な発展—」	単著	2005年3月	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 国際関係学専攻 修士論文	農地を取り入れた地方都市空間の開発。 中規模地方都市における都市システムの比較研究。総合政策的アプローチによる農業政策と街づくり政策の研究。 主査：原剛 早稲田大学教授 副査：加藤秀樹 慶應義塾大学教授 副査：阿部義章 早稲田大学教授 原剛研究室「2005年度・修士論文集 Part 2」に掲載し出版される。
2 「地方自治体のプライバシー保護条例についての考察」	単著	2001年	慶應義塾大学 総合政策学部 片岡正昭研究会	
3 GSAPS Master's Thesis Summary	共著 (担当した執筆部分については単著)	2004年3月	Graduate School of Asia-pacific Studies Waseda University	MA Program in International Relations MBA Program/MOT Program Graduate School of Asia-pacific Studies Waseda University
(その他) 1 「月刊かながわ」 (再掲)	寄稿	1994年10月1日	神奈川県	「月刊かながわ」は、神奈川県が発行する月刊誌。
2 「塾」第40巻第二号 (通巻235号) (再掲)	寄稿	2002年7月1日	発行：慶應義塾 慶應義塾総務部 (広報担当)「塾」編集部	平成13年度 塾長賞受賞にかかわるもの
3 「塾」第40巻第四号 (通巻237号) (再掲)	寄稿	2003年1月15日	発行：慶應義塾 慶應義塾総務部 (広報担当)「塾」編集部	特集「世界がキャンパス」の中で、「これからの国際貢献は『住民自治』がキーワード」と題した論文を寄稿。
4 「YOU」 (再掲)	寄稿	2003年4月	発行：慶應義塾生活 協同組合	年4回発行され、学内各キャンパスに配布された広報誌。

